

第1回 勝山市立保育園・幼稚園のあり方検討委員会 議事録（要点筆記）

日時：令和4年6月16日（木）午後7時～8時
場所：福祉健康センターすこやか 多目的ホール
参加者：（勝山市立保育園・幼稚園のあり方検討委員会）

市長あいさつ

昨年度、勝山市全体の出生数は107人、今年の4月は7名、5月は5人であった。また、子どもを産む年齢である15歳から49歳までの女性の数が激減しており、今後、出生数が増加する事は見込めない。

昨年、私立の社会福祉法人の方々と議論した。今後の少子化を見通す中で、私立3園があわせて定員を40名（公立保育園・幼稚園の全児童数相当）減員した。今後どうするか、また法人同士でどう協力していくか議論したが、社会福祉法人だけが考えていてもダメだという結論になった。今後も協議を重ねていきたい。

認定こども園に移行してきた結果、認定こども園の1号認定と幼稚園の1号認定の役割が被ってきている。このような中、公立は何を担っていくべきか議論が出ている。

地域別に見ると村岡地区や猪野瀬地区、遅羽地区には保育園・幼稚園が無い。園と地域との関わりをどのようにしていくか課題もある。

今後の課題として市は、行政（措置機関）として私立と力を合わせていくべきか、これまで通り私立と公立は別物として考えていくべきなのかについて、有識者や地元の方々にご意見を伺いながら1つの方向性を出して行ってほしい。

市の就学前、教育・保育を再提案する機会であるため、皆様方の知恵を拝借したい。全体として定員の大幅な削減は少子化の中避けられない状態であるので、何回開催しても構わないので早い時期に結論を見出してほしい。

会長あいさつ

会長 教育や保育は都市部の事情や昭和の時代に制度設計された事で今も脈々と続いている。日本は人が減らないことを前提に全ての物事を考えている。だが、そういう時代ではなくなり、新しい時代になってきている。頭を柔軟にして新しい考え方をしていかなければいけない。そういった話をこの会で皆様とできたらと思っている。

会長 昨日、こども家庭庁の設置法案と関連法案が提出され、子どもを中心にした政策の実現を目指している。子どもを中心としたあり方が実現することに期待を持っている。勝山市の厳しい状況に身が引き締まる思いをしている。このあり方検討委員会では子どもを中心としたあり方という所をブレずに考えていきたい。

議事

事務局

勝山市における少子化の状況（出生数の推移）
勝山市内の保育園等の状況（園一覧、保育園等の経過、園児数の推移）
認定区分と保育の必要性、社会福祉法人からのご意見
公立幼稚園・保育園の園児数の推移、平泉寺町・野向町における少子化の状況
第2期子ども・子育て支援事業計画について等 別紙資料により説明

質疑応答など

- 委員 資料No1の8ページの勝山市内の保育園等の状況・・・(3)園児数の推移の標に書かれている保育園の数字だが、どのような数字になっているか。また、市長が諮問した諮問書のコピーを頂きたい。
- 事務局 私立の保育園部分について、-153→-92に、公立の保育園部分は-21→-82の訂正をしてほしい。諮問書は後日送る。
- 委員 今回の資料 No1 に関して、市民に提示してもよろしいか。
- 事務局 提示可能である。
- 会長 資料 No1 の 5 ページの園の配置図があり、幼稚園・保育園・こども園が何も無い地域が何か所がある。そういう地域の子はどのような就学前保育を受けているか。
- 事務局 保育施設がない地域は村岡町、北谷町、遅羽町になる。
村岡町に関して、以前勝山中部幼稚園があったが、成器南幼稚園と統合したため、現在保育施設がない形となっている。しかし、町の境界線にしろきこども園があり、そちらに通われている率が高くなっている。
遅羽町では、20年前にへき地保育園が存在していたが無くなり、現在は保育施設がない状態である。遅羽町の子どもは橋を渡ってすぐの南こども園、中央こども園のように様々な園に通っている傾向が見られる。遅羽町は子どもが1学年につき1桁程度の人数しかいない地域となっている。
北谷町は住んでいる子どもの人数が1,2名いる形となっており、職場の近くの園に通っている。
- 事務局 追加として、猪野瀬地区の子どもは成器南小学校に通う。保育園・幼稚園では親の仕事の都合でまつぶんこども園や南こども園に多く通う傾向がある。
- 委員 この会は公立保育園・幼稚園を無くす方向で進めるか、アピールして増やそうとしているのかどちらなのか。
- 事務局 子どもの数が急激に減ってきている。そして、公立保育園・幼稚園は私立の保育園に比べると非常に子どもが少ない。今後、公立園の廃園または継続に関して、どのような方向性にするかをこの会議で話し合っていく。
- 委員 今後のあり方検討委員会はどういう風なテーマ・手順でやっていくのか。経済的な面を知りたい。事前に資料の提出があると全体像が掴める。

- 事務局 具体的な数字を示しながら今後のあり方を検討したい。
- 委員 近隣市町の状況について知りたい。また、参考資料が欲しい。
- 事務局 参考資料として用意する。
- 委員 平泉寺保育園の保護者から、(公立保育園を) 検討していくとは聞いているがまったく情報がない。何を検討していくのか直接聞いていないため知りたい。在園児の保護者、また今後入る可能性の方々にはどの段階でどのように説明される予定なのか。
- 事務局 今日がスタートという事で、ある程度の方針が見えた段階で保護者に説明となる。資料に関しては保護者と情報共有してもらっていい。
- 委員 他市町での公立保育園・幼稚園の有無を知りたい。今後3園(平泉寺・野向・成器南)を1園の公立こども園に変えるという意見ができる可能性があるという事で、大野市の公立こども園が出来た経緯等を資料にしてほしい。
- 事務局 了解した。
- 会長 あり方検討委員会は自由に発言できる場である。公立を無くすかどうかの話だけではなく、これから子どもの数が減っていくと予想されているのであれば私立園の今後も考えていかなければならない。子どもの数を考えながら、勝山市の教育・保育を1人1人の立場で考え、今後のあり方について考えていきたい。
- 事務局 今後は保育園・幼稚園は分かれて審議していく。次回は7月中開催を予定している。

副会長あいさつ

- 副会長 第1回目のスタートという事で今後どのような方向で話が進んでいくか分からないと思うが、次回はいろんな参考資料が事前に配布されるため、それらを見ていただき意見を持って、検討委員会に望んでいけたらと思う。子どもがいる家庭・いない家庭、いろんな事情があると思いますが、皆様が納得いくような勝山市の保育園・幼稚園のあり方を考えていけたらと思う。

閉会
